



2027年1月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年9月14日

上場会社名 株式会社ダブルエー 上場取引所 東
コード番号 7683 URL <https://www.wa-jp.com/>
代表者 （役職名）代表取締役 （氏名）肖 俊偉
問合せ先責任者 （役職名）執行役員 （氏名）丹下 祐二 TEL 03(5423)3601
半期報告書提出予定日 2026年9月14日 配当支払開始予定日 2026年10月14日
決算補足説明資料作成の有無：有（9月18日開示予定）
決算説明会開催の有無：有

（百万円未満切捨て）

1. 2027年1月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年2月1日～2026年7月31日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年1月期中間期	11,080	△5.7	4	△99.4	189	△76.2	43	△91.1
2026年1月期中間期	11,747	4.3	710	△16.8	794	0.6	484	3.9

（注）包括利益 2027年1月期中間期 74百万円（△81.4％） 2026年1月期中間期 400百万円（△26.3％）

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年1月期中間期	2.26	2.25
2026年1月期中間期	25.38	25.31

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年1月期中間期	14,260	10,977	77.0
2026年1月期	13,457	11,063	82.2

（参考）自己資本 2027年1月期中間期 10,977百万円 2026年1月期 11,063百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年1月期	—	8.50	—	8.50	17.00
2027年1月期	—	8.50			
2027年1月期（予想）			—	8.50	17.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年1月期の連結業績予想（2026年2月1日～2027年1月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,661	5.7	1,504	41.0	1,496	26.1	881	28.1	46.15

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2027年1月期中間期	19,084,400株	2026年1月期	19,079,920株
2027年1月期中間期	202株	2026年1月期	202株
2027年1月期中間期	19,082,490株	2026年1月期中間期	19,076,771株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（中間期）

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する適切な利用についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はT D n e tで2026年9月18日に開示し、開示後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間(2026年2月1日～2026年7月31日)におけるわが国経済は、大手企業を中心とする雇用・所得環境の改善等により景気は緩やかな回復基調で推移している一方で、エネルギー関連価格や各種原材料価格の高騰に伴う物価上昇によって実質所得は限定的な伸びに留まるとともに、消費者マインドについては慎重な姿勢が継続しております。

また、中東情勢をはじめとする地政学リスクの長期化や、円安傾向が持続している為替相場、金融・資本市場の不安定な動向により、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが主として所属する靴業界におきましては、業界全体の市場規模は減少傾向にあるものの、スニーカーを中心としたカジュアル志向の靴や履き心地等の機能性を重視した靴は、底堅い需要のもと拡大傾向にあります。このような状況の中、当社グループは、「いつでも想像以上に満足のできる商品・サービスを提供します。」の企業理念のもと、引き続き好立地かつ好条件の店舗展開と、更なる成長が期待されるオンライン販売の拡大に取り組んでまいりました。

当中間連結会計期間におきましては、オンライン販売が好調に推移した一方で、経営資源の見直しに伴う一部店舗の退店や、実店舗における販促活動の見直しに伴い一時的に販売高が減少した結果、売上高は前年同期を下回りました。また、CM放映に伴う広告宣伝費の計上や人件費その他物流費用等の増加により、販売費及び一般管理費が前年同期を上回りました。

以上の結果、当中間連結会計期間における売上高は11,080,490千円(前年同期比5.7%減)、営業利益は4,554千円(前年同期比99.4%減)、経常利益は189,134千円(前年同期比76.2%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は43,110千円(前年同期比91.1%減)となりました。

当中間連結会計期間における報告セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

(婦人靴の企画・販売事業)

婦人靴の企画・販売事業におきましては、オンライン販売が好調に推移した一方で、実店舗の販促施策の見直しによる販売高の減少に伴い、売上高は前年同期を下回りました。また、出店及び改装に係る諸費用の増加やCM放映に伴う広告宣伝費の影響により、セグメント利益は前年同期を下回りました。

以上の結果、婦人靴の企画・販売事業の売上高は9,749,898千円(前年同期比6.4%減)、セグメント利益は1,023,468千円(前年同期比40.7%減)となりました。

(婦人服の企画・販売事業)

婦人服の企画・販売事業におきましては、経営資源の見直しに伴う一部店舗の退店や、複数の店舗リニューアルに伴う一時休業の影響により実店舗の販売高が減少し、売上高は前年同期を下回りました。また、店舗の改装に係る諸費用や賃上げによる人件費増、物流費用等のその他販売費及び一般管理費の増加に伴い、セグメント損失を計上いたしました。

以上の結果、婦人服の企画・販売事業の売上高は1,330,591千円(前年同期比0.3%減)、セグメント損失は8,413千円(前年同期はセグメント損失59,460千円)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産)

総資産は、前連結会計年度末に比べて、803,534千円増加して14,260,785千円となりました。これは主に、現金及び預金が310,349千円、受取手形及び売掛金が94,672千円、棚卸資産が211,029千円、前渡金(その他流動資産)が154,384千円それぞれ増加したことによるものです。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べて、889,727千円増加して3,283,006千円となりました。これは主に、買掛金が186,548千円、短期借入金が800,000千円それぞれ増加した一方で、リース債務(その他流動負債)が68,822千円減少したことによるものです。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて、86,193千円減少して10,977,778千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純利益の計上により利益剰余金が43,110千円、為替換算調整勘定が46,132千円それぞれ増加した一方で、配当金の支払により利益剰余金が162,177千円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年1月期の連結業績予想につきましては、2026年3月17日に公表いたしました「2026年1月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の数値から変更はありません。なお、業績予想につきましては、当該資料の公表日現在において当社が入手した情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年1月31日)	当中間連結会計期間 (2026年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,623,385	2,933,735
受取手形及び売掛金	1,969,071	2,063,743
棚卸資産	4,994,176	5,205,206
その他	364,609	585,129
流動資産合計	9,951,243	10,787,814
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,013,835	937,231
工具、器具及び備品(純額)	221,092	242,628
土地	233,468	233,468
その他(純額)	16,255	18,372
有形固定資産合計	1,484,652	1,431,701
無形固定資産		
ソフトウェア	18,921	13,311
その他	55	1,144
無形固定資産合計	18,977	14,455
投資その他の資産		
投資有価証券	266,905	245,095
敷金及び保証金	1,044,432	1,055,929
繰延税金資産	681,149	715,226
その他	9,891	10,562
投資その他の資産合計	2,002,378	2,026,813
固定資産合計	3,506,008	3,472,970
資産合計	13,457,251	14,260,785

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年1月31日)	当中間連結会計期間 (2026年7月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	444,395	630,943
短期借入金	—	800,000
未払法人税等	221,818	192,738
賞与引当金	108,435	94,450
クーポン引当金	1,502	—
株主優待引当金	94,788	114,784
その他	959,749	882,632
流動負債合計	1,830,689	2,715,549
固定負債		
役員退職慰労引当金	220,250	226,300
退職給付に係る負債	198,757	193,341
その他	143,581	147,815
固定負債合計	562,588	567,457
負債合計	2,393,278	3,283,006
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,655,209	1,656,049
資本剰余金	1,605,172	1,606,008
利益剰余金	7,514,808	7,395,741
自己株式	△207	△207
株主資本合計	10,774,982	10,657,592
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△17,148	△32,083
為替換算調整勘定	306,137	352,270
その他の包括利益累計額合計	288,989	320,186
純資産合計	11,063,972	10,977,778
負債純資産合計	13,457,251	14,260,785

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年7月31日)	当中間連結会計期間 (自 2026年2月1日 至 2026年7月31日)
売上高	11,747,511	11,080,490
売上原価	4,508,746	4,193,838
売上総利益	7,238,764	6,886,652
販売費及び一般管理費	6,528,030	6,882,098
営業利益	710,734	4,554
営業外収益		
受取利息	9,327	7,908
受取配当金	7,730	7,730
為替差益	75,780	169,184
その他	322	14,180
営業外収益合計	93,161	199,003
営業外費用		
支払利息	7,348	8,144
解約違約金	—	3,253
障害者雇用納付金	1,850	3,025
その他	10	1
営業外費用合計	9,208	14,423
経常利益	794,687	189,134
特別利益		
負ののれん発生益	5,317	—
補助金収入	1,240	2,244
特別利益合計	6,557	2,244
特別損失		
固定資産除却損	1,172	4,739
特別損失合計	1,172	4,739
税金等調整前中間純利益	800,072	186,638
法人税、住民税及び事業税	349,427	169,913
法人税等調整額	△33,441	△26,385
法人税等合計	315,985	143,528
中間純利益	484,086	43,110
親会社株主に帰属する中間純利益	484,086	43,110

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年7月31日)	当中間連結会計期間 (自 2026年2月1日 至 2026年7月31日)
中間純利益	484,086	43,110
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△18,740	△14,935
為替換算調整勘定	△65,181	46,132
その他の包括利益合計	△83,921	31,196
中間包括利益	400,164	74,307
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	400,164	74,307
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年7月31日)	当中間連結会計期間 (自 2026年2月1日 至 2026年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	800,072	186,638
減価償却費	308,281	310,239
負ののれん発生益	△5,317	—
補助金収入	△1,240	△2,244
賞与引当金の増減額(△は減少)	△7,011	△14,036
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	7,063	△5,557
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△64,833	6,050
受取利息及び受取配当金	△17,057	△15,638
支払利息	7,348	8,144
売上債権の増減額(△は増加)	△325,384	△82,339
棚卸資産の増減額(△は増加)	△459,387	△206,947
為替予約(資産)の増減額(△は増加)	△35,769	67,580
仕入債務の増減額(△は減少)	211,427	180,583
未払金の増減額(△は減少)	16,866	32,222
未払消費税等の増減額(△は減少)	△115,379	△11,636
その他	75,567	△332,353
小計	395,246	120,705
利息及び配当金の受取額	17,057	15,638
助成金等の受取額	1,240	2,244
利息の支払額	△7,686	△8,874
法人税等の支払額	△351,896	△198,526
法人税等の還付額	174	3,018
営業活動によるキャッシュ・フロー	54,135	△65,793
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△300,960	—
定期預金の払戻による収入	323,387	—
有形固定資産の取得による支出	△286,707	△173,802
無形固定資産の取得による支出	△6,559	△2,340
投資有価証券の取得による支出	△87,446	—
敷金及び保証金の差入による支出	△56,894	△51,168
敷金及び保証金の回収による収入	89,328	113,449
貸付けによる支出	△81,410	△45,570
貸付金の回収による収入	163,520	—
事業譲受による支出	△131,248	—
その他	△2,361	△47,899
投資活動によるキャッシュ・フロー	△377,353	△207,331
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	500,000	800,000
リース債務の返済による支出	△161,531	△145,144
株式の発行による収入	826	1,676
配当金の支払額	△209,840	△162,177
財務活動によるキャッシュ・フロー	129,453	494,354
現金及び現金同等物に係る換算差額	175,359	84,218
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△18,404	305,447
現金及び現金同等物の期首残高	2,529,541	2,558,107
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,511,137	2,863,555

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2025年2月1日 至 2025年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	婦人靴の 企画・販売 事業	婦人服の 企画・販売 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	10,412,725	1,334,785	11,747,511	11,747,511	—	11,747,511
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	10,412,725	1,334,785	11,747,511	11,747,511	—	11,747,511
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,726,715	△59,460	1,667,255	1,667,255	△956,520	710,734

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

当中間連結会計期間において、ヒロタ株式会社より31 Sons de mode(トランテアン ソン ドゥ モード)の事業譲受を行ったことにより、「婦人服の企画・販売事業」において負ののれん発生益を認識しております。当該事象による負ののれん発生益の計上額は5,317千円であります。なお、負ののれん発生益の計上額は特別利益のためセグメント利益には含まれておりません。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2026年2月1日 至 2026年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	婦人靴の 企画・販売 事業	婦人服の 企画・販売 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	9,749,898	1,330,591	11,080,490	11,080,490	—	11,080,490
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	9,749,898	1,330,591	11,080,490	11,080,490	—	11,080,490
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,023,468	△8,413	1,015,054	1,015,054	△1,010,500	4,554

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。